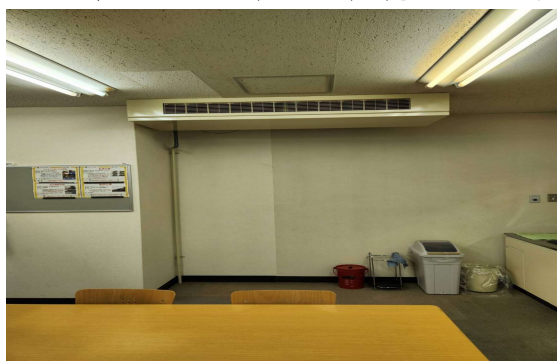


サービック第二事業所営業第3グループ

要求実現！エアコン取り替え

3月13日、J R 東海労新幹線関西地本が要求していた、サービック第二事業所営業第3グループ（3 G）詰所の老朽化したエアコンの取り替えが行われました。営業3 G 詰所の老朽化したエアコンはサビだらけの水漏れが発生していました。



地本は、サービック本社に対して、エアコンの取り替えを要求（2022年12月23日申し入れ）し、1月31日に開催された団体交渉において、サービック本社は「エアコンは老朽化が進んでいるため取り替える」と回答しました。

そして3月13日、営業3 G 詰所の老朽化したエアコンが取り替えられることになりました。

【交換された営業3 G 詰所のエアコン】

エアコンの次は、水道水のサビ！ 健康被害が危惧される！早急に対処しろ！

営業3 G 詰所の水道水にサビが混入しています。サービック本社は「（水道水がサビ臭いことについて）水質検査をして問題ない」と見解を示していますが、水道水を入れたポットの内側はサビで真っ赤になります。地本は、ポットが使えないため給湯器と飲料水（サーバー）の設置を要求しましたが、実現には至っていません。

2月18日、地本は営業3 G 詰所の水道水のサビ混入は、社員の健康被害が危惧され、サービック会社の「安全配慮義務」「労働安全衛生法」が問われる事態であることから、サービック本社に対して強く抗議を行いました。

2月24日、サービック本社は、地本の抗議を受けて水道水の水質検査を実施しました。しかし、未だに水質検査の結果を明らかにしていません。

現在、営業3 G の社員は、飲料水についてはペットボトルを購入し、サビが混入した水道水では手洗いで洗顔をうがいもできない状態です。

サービック本社は、営業3 G 詰所の水道水の安全性について、責任を持って水質検査の結果を含めて見解を示さなければなりません。そして、現在問題となっている水道水のサビ混入（臭いも含めて）解消にむけて早急に対処すべきです。